

News Release

報道関係 各位

2022年11月4日

【イベント参加報告】

第48回 技術士全国大会（奈良・関西）第4分科会 当委員会より10名、全国の地域組織から100名を 超える技術士が参加し、大盛況で終了

公益社団法人 日本技術士会 近畿本部 青年技術士交流委員会（藤内洋委員長）は、10月29日（土）に第48回 技術士全国大会（奈良・関西）第4分科会において「未来社会への技術監理」と題したワークショップを対面・オンラインのハイブリット方式で開催しました。本ワークショップには当委員会から10名、その他全国の各地域から若手を中心に100名を超える技術士・技術士補が集まり、10年後の技術監理についてワークショップを通じて、活発な議論を交わしました。

イベント詳細

「未来社会への技術監理」と題し、10年後の新技术や多様性の時代に技術士の理想像を叶えるには、どの分野のどのような専門性のスキルが必要なのかをワークショップ形式で話し合いました。ファシリテーションは国家資格キャリアコンサルタントを有するシンキングスクエア代表 関戸紹恭氏が務め「精密より親密に」「正確より可能性を」「独壇場よりアライアンスで」を話し合いの軸として議論を深めました。

参加者からは、技術+ α のスキルとして経営力、実行力、コミュニケーション、新技术（AI/DX/5G）等が必要、さらにリーダーシップ力やタレント力も必要である、といった意見が挙がりました。

本ワークショップを通じ、未来社会への技術監理のために技術士が具備しなければならない新たなスキル・分野を発見できたとともに、我々が取り組まなければいけない多くの課題があることを認識し、新たな技術士像を目指すべく研鑽の必要性を学びました。



成果の一例



全国から会場に集まった若手技術士（一部技術士補を含む）

【本イベントに関するお問い合わせ】

公益社団法人 日本技術士会 青年技術士支援委員会 委員長 河野恭彦

委員会内広報担当：岩部然育、高木真人 E-mail: pr@peyec.jp ※取材の際は左記までお問い合わせください。

公益社団法人 日本技術士会 青年技術士支援委員会とは？

公益社団法人 日本技術士会は技術士制度の普及・啓発に取り組んでいる唯一の全国組織です。当会は、日本技術士会内に設けられた委員会組織で、45歳以下の技術士、技術士補、修習技術者から構成され、若手技術士に向けた研鑽事業の企画・実施・支援をしています。

技術士
仲間を
作ろう！